

飯能西中だより



天覧山 9月号

飯能市立飯能西中学校
学校だより
令和3年度 第6-1号
令和3年9月1日発行

<校訓> 誠・和・進 <学校教育目標> 自立 共生

<目指す学校像> 心のよりどころとなる世界に誇れる学校

皆様に支えられ 飯能西中学校は今年50周年の節目を迎えます。

私たちがすべきこと

校長 中村 公一

2学期のスタートにあたっては休業延長や分散登校など各市町村によってその対応が分かれています。飯能市においては当面の間、通常通りの予定で学校を再開することになり、本校においても先週から2学期を開始したところですが、最近の感染はデルタ株がほとんどでその感染力は非常に強く、新型コロナウイルス感染症への対応は新たなフェーズに入ったと考えなければなりません。7月までとは全く違う状況であるという認識の下、私たち職員も緊張感を持って事に当たりたいと考えています。そのため、先日の始業式で生徒に向けてお話したことの要点をここでもう一度お伝えしたいと思います。

現在、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が止まらず、このまま行くと戦場で行われるようなトリアージをしなければならなくなることが心配されています。治療できる人数に余裕がある通常の医療体制では重症者の治療に力を注ぐことが出来ますが、医療体制が逼迫し感染者数が治療できる人数の限界を超えてしまうと、助かる人の治療を優先的に行う命の選択が行われるようになります。病院には入れるのは助かりそうな人だけで、助かりそうに無い人は自宅で最期を待つということにだけはならないよう、とにかく今は新たに感染する人を少なくしなければなりません。そのために私たちがやらなければならないことは自分も含め、みんなが罹らないようにするために危機意識を持って行動することです。このままゆくと皆さんや皆さんの家族、先生方や先生の家族が感染することも増えてくるでしょう。そうなるとはや学校を閉じるほか無くなってしまいます。しかも先生方だけが感染しないという保障はどこにもありませんから、最悪の場合はオンラインの授業さえ出来なくなる恐れもあると思うのです。

このようなことを踏まえ、本市では合唱祭は中止、体育祭は来月以降に延期または中止と判断されました。既に体育祭も合唱祭も取り組みが始まっているだけに、頑張ってくれていた生徒の皆さんには本当に申し訳ないのですが、なんとか現実を受け入れてほしいのです。先週、始業式の前に実行委員の皆さんに集ってもらい、全校生徒に話す前にこのことを伝えました。最初は困惑を隠せない様子の皆さんでしたが、やがて私の言葉に頷き、意を決したように教室に戻っていくその姿を見て、なんと素直で前向きな生徒達なのだろうと思いました。この子達のためになんとかいい思い出を残して上げたい。そう思うのは私だけではないはずです。

さて、このように先週から学校が再開したわけですが、以前と違うのは小中学校で知らず知らずのうちに感染するケースが増えているという事です。皆さんが感染して家に持ち帰ったら家族全員が罹ってしまうということもあるわけです。ですから学校にウイルスを持ち込まない。学校からウイルスを持って帰らないように、これまで以上に感染のリスクを減らすための行動をしてもらわなくてはなりません。一説によるとデルタ株は今までのアルファ株の1000倍のウイルスを出すそうです。簡単に言うと、感染している人から1mほどの範囲の中にあつたこれまでのウイルスの量を1とすると、今では同じ1mの範囲の中にあるウイルスの量は1000あるということになります。このウイルスの影響を今までと同じくらいにするためには理論上(1000=10³なので)10m離れなければいけないということになります。ですから手洗いやマスク、距離を取り換気をしっかりとすることはもちろんのことですが、大切なのは給食を取るとき以外は絶対にマスクを外さないということです。また、マスクを外さなければいけない給食の時間は、全員が食べ終わりマスクを着けるまでは絶対に話をしないということです。屋外であっても先ほど説明したように、今までよりもウイルスの量がけた違いに多いという事を忘れず、会話をするとき安易にマスクを外さないようにしてください。デルタ株はエアロゾル感染といって空气中をさまよう小さな飛沫で感染します。ですから換気を今まで以上に行わなければなりませんし、飛

沫を出さないようにマスクを外している人がいるときはしゃべらないというきびしい条件を守らなければ感染の恐れがあるということを忘れないでください。

こう話してくると、制約ばかりで息苦しいと感じるかもしれません。けれども、今みんなで感染を減らさなかったらどうになってしまうのでしょうか。今はなんとしても感染拡大を止めるときなのです。あのときもう少し我慢しておけばよかったと後悔しないようにしましょう。

クレア・ブース・ルースというアメリカの劇作家が残した有名な言葉があります。

「絶望的な状況などない、人が状況に対して絶望的になっているだけなのだ」というものです。

私たち人間には知恵があります。以前、朝会でもお話したように、私たち人間はどんな困難も知恵を出し合って生き抜いてきたのです。今後さらに新しいワクチンのほか新しい治療薬を開発したり、感染リスクをうまくコントロールした新たな移動手段や消費方法などが考え出されてくることでしょう。そしてそれを考え出していくのは私たち自身でもあるのです。だから諦めてはいけません。まずは自分の身を守るために、家族を守るために、今までよりも厳しい生活習慣に慣れていきましょう。

皆さんにとって大切なのは、明日も、明後日も無事に生きているということ。来年も、再来年も、大切な家族と一緒に暮らしていただけるということ。そして未来へと続いていく皆さんの大切な人生です。今を乗り越えていく経験は私たち大人にとっても初めての経験であり、やがて皆さんにとって大きな生きる力につながっていくに違いないと信じています。助け合い、知恵を出し合い頑張りましょう。

○前回に引き続き、文章の多い学校だよりになってしまい申し訳ございません。

けれども皆さんにお伝えしたい大切なことが書いてありますのでお許しください。

この夏、新チームでスタートした部活動

県大会、コンクールなどが終わり、この夏多くの部活動で新チームがスタートしました。猛暑の中、新人戦を目指してみんなよく頑張っていたのですが、残念ながら新型コロナウイルスの感染拡大により、しばらくの間部活動は停止することになってしまいました。部活動の再開については、今後の教育委員会や中学校体育連盟から出される指示を待ち、改めて皆さんに連絡することになります。



○ 9月の主な行事予定 ○

3日(金) 3年生4市テスト	16日(木) 飯能日高英語弁論大会
7日(火) 生徒朝会(放送)	21日(火) 生徒朝会(壮行会)
13日(月) 授業日(弁当持参)	22日(水) 新人体育大会入間西部予選 給食無し
9月11日(土) は予定した体育祭を開催しないため休日となります。	24日(金) 新人体育大会入間西部予選 給食無し